

	由利本荘市立尾崎小学校 学校だより	令和5年度 第31号
	おざきっ子	令和6年3月21日
		発行 校長

進級おめでとうございます！



3月21日（木）、修了式が行われ、1～5年生385人に修了証を渡しました。全員の進級、おめでとうございます。令和5年4月6日から始まった令和5年度を振り返ってみると、ほぼすべての行事を予定通り行うことができました。また、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、運動会や学習発表会では、思いっきり声を出すことができました。学習面においても、課題に一生懸命取り組み、自分の考えをたくさん発表できる子どもが増えてきました。さらには、タブレットの活用が進み、より深い学びを実現することができました。そして、大きな事故もなく、全員無事に今日を迎えることができたことに、改めて感謝します。保護者、地域の皆様、ご協力ありがとうございました。

明日から4月4日（木）まで春季休業となります。14日間と短い休みですが、統計上、事故や事件が一番起きている休みでもあります。規則正しい生活と交通ルールの遵守に心がけ、健康的で安全な休みとなるよう各ご家庭でも声かけをお願いいたします。

修了式で、子どもたちに次のことをお話しています。

1年生から5年生の皆さん、進級おめでとうございます。

4月6日から始まった令和5年度も今日で終了となります。皆さんにとって、今年はどうな1年でしたか。一人一人、すてきな思い出を増やすことができたのではないのでしょうか。

さて、1学期の始業式で3つの願いをしました。1つ目の願いは、「勉強が好きになる」ということです。自分の好きな勉強を増やすことができましたか。

2つ目の願いは、「人の役に立つ」ことです。係や当番の活動、そうじ、委員会の活動を一生懸命行いましたか。友達や先生方から「ありがとう」と言ってもらえることができましたか。

3つ目の願いは、「きまりを守る」ことです。学校のきまりを守り、気持ちのよい学校生活を送ることができましたか。交通ルールなどを守り、安全に暮らすことができましたか。

たくさん達成できた人、少ししか達成できなかった人、人によって達成の度合いは違うと思いますが、達成しようと努力したことが何よりも大切だと思います。この1年間よく頑張ってくれました。

話は変わりますが、明日から2週間の春休みとなります。短い休みですが、1つ上の学年に上がるための準備をしっかりしましょう。そして、事故にあわないよう十分に注意して生活してください。

感動の卒業式！ 93名が巣立つ!!

3月15日、暖かな春の日差しが差し込む中、令和5年度の卒業証書授与式を挙行することができました。卒業証書を受け取る時の子どもたちの凛々しい顔が今でも脳裏に焼き付いています。さらに、呼びかけや歌もとても感動的でした。卒業生の次のステージでの活躍を期待しています。

また、式に参加した5年生の態度もとても立派でした。前日の準備や当日の後片付けも一生懸命がんばっていました。ありがとうございました。



児童の発表より



「1年間の思い出とがんばりたいこと」 1年竹組 橋浦 ** (***)

ぼくの1年間の思い出は、二つあります。一つ目は、虫とりです。夏の生活の勉強で、グラウンドに行きました。バッタやアゲハチョウ、カマキリをつかまえました。カマキリのかまがかっこいいし、アゲハチョウの色や模様がきれいでとてもうれしかったです。

二つ目は、読書をしたことです。特に、ほねほねザウルスの本が好きで、毎日図書館に本を探しに行くのが楽しみでした。2年生になってもたくさん本を読みたいです。

これからがんばりたいことは、友達を増やすことです。入学してからクラスみんなに、「お友達になって。」と、自分から話しかけていきました。そうすると、お友達がたくさんできました。ぼくは、4月から宮城県の八本松小学校に行きます。新しい学校でも寂しくないように、自分からお話してたくさんのお友達を作りたいです。そして、楽しい毎日を過ごしたいです。

「3年生の振り返りと4年生でがんばること」 3年松組 土田 ** (***)

私が3年生でがんばったのは、本を読むことです。1年間で図書館から320冊くらい借りました。物語の本だけでなく、歴史や憲法、病気の本などいろいろなジャンルの本をたくさん読みました。

社会科で、昔の暮らしの勉強をしたときは、歴史の本を借りて読んで、昔の様子を知り、勉強に役立てました。また、私の将来の夢は、医者になることなので、病気の本などを借りてマイプランデーにノートに書き写すなどして勉強しました。本を読むことで、今まで知らなかったことをたくさん知ることができたと、3年生の様々な勉強に役立てることができました。

本をたくさん読むと想像力がついたり、言葉を知ることによって表現力がついたりするそうです。だから、4年生では読書でついた力を生かして、今よりももっと授業で発表することに挑戦したいと思います。

「努力と協力の大切さ」 5年梅組 佐々木 ** (***)

私はこの1年で学んだことが、大きく分けて二つあります。

まず一つ目は、「努力する大切さ」です。この大切さを学んだ出来事は、「計算領域テスト」です。計算領域テストとは、5、6年生で行う計算問題がたくさん出てくるテストです。私たちのクラスは、合計4回ほど練習テストをして本番に臨みました。私は、1回目全然分からないまま練習テストを解きました。点数は56点。とても低い点数でした。とても落ち込みました。ですが、次はもっといい点数をとれるように、家庭学習で練習をたくさんするようになりました。そして、2回目の練習テストは、77点。約20点上がりました。とてもうれしかったです。でも、私の大の苦手の分数の計算が、5問中1問しか合っていなかったため、お母さんと一緒に特訓をしました。3回目は82点、ラストの練習テストは、92点と上がりました。そして本番、特訓してきたことを思い出し、見事100点を取ることができました。そして、クラスの平均点数は95点と高く、自分でも努力は実を結ぶというのを実感できました。

次に学んだことは、「協力する大切さ」です。この大切さを学んだ行事は、「自然教室」です。5年生で一番楽しみだった行事の自然教室では、協力する大切さをたくさん学びました。一つ目は、1日目のお昼ご飯のカレー作りです。釜場班と炊事場班に分かれてカレーを作りました。私は炊事場班で、野菜を切ったりカレーを作ったりしました。友達と協力してカレーを完成させました。釜場では、別の人から米を炊いてくれていました。そして完成したカレー。カレーはどろっとしたけど、とてもおいしかったです。二つ目は、スタンプラリーです。スタンプをいろいろなところから押していきました。「あっちにスタンプあったよ。」や「階段たくさんあったから気をつけてね。」などと、いろいろな班と協力し合い、スタンプをいっぱい見つけることができました。

4月から6年生になります。今年学んだ「努力する大切さ」と「協力する大切さ」を大事に、また新たな「大切さ」をたくさん見つけていきたいです。